

令和元年度 第1回 瑞浪市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

1. 日 時 令和元年6月24日（月） 午後1時30分から午後3時00分まで
2. 場 所 瑞浪市保健センター 3階 大会議室
3. 出席者 永井委員長、木股副委員長、内田委員、肥田委員、兼松委員、出村委員、江口委員、伊佐地委員、清水委員、工藤委員、矢田委員、橋本委員、渡辺委員、栗岡委員、水野（美）委員、水野（優）委員、後藤委員、鶴来委員
欠席者 伊藤委員、安藤委員
事務局 加藤民生部長、兼松社会福祉課長、社会福祉課 伊東・伊藤
傍聴者 1名
4. 議題等
 - 1) 小規模保育事業所の利用定員について
 - 2) 第2期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画について
 - ・アンケート調査結果報告
 - ・計画策定スケジュール
 - 3) その他

5. 会議録（要旨）

事務局

本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の議題ですが、お配りしている次第に記載のとおり、1点目が「小規模保育事業所の利用定員について」2点目が「第2期瑞浪市子ども・子育て事業計画について」ご審議をお願いする内容となっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、民生部長加藤よりごあいさつ申し上げます。

民生部長

委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、本年度第1回の「子ども・子育て会議」に参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題でもありますが、この会議は、保育施設の利用定員の設定ですとか、「子ども・子育て支援事業計画」の策定など、「子ども・子育て」に関する、様々な事項についてご審議のうえ、ご意見をいただく場でございます。

特に今年度は、令和2年からの5年間の、本市の子ども・子育て分野のベースとなる「子ども・子育て支援事業計画」を策定する、重要な年となります。昨年度は、「アンケート」の調査項目等につき、皆さまからご意見をいただき、今回その報告をさせていただくこととしております。

内容を見ますと、特に自由記述では本当に多くの貴重なご意見をいただいております。しっかりと分析していくとともに、幼児教育・保育の無償化をはじめ、子育て支援に関する新たな国の政策や事業も出てきております。市の子育て支援策への影響も十分把握する中で、次期の計画につなげていきたいと思っております。

皆さまには、様々なお立場から委員として参加いただいておりますので、是非、忌憚のないご意見・ご提案をいただいて、有意義な会にしたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

事務局

議事に入る前にこの4月に3名の委員の交代がありましたのでご報告させていただきます。

- ・瑞浪市 PTA 連合会母親委員代表 伊藤智香子さん。本日は欠席です。
- ・桔梗幼児園保護者会代表 内田洋美さん。
- ・瑞浪市児童館館長 安藤八重子さん。本日は欠席です。

前任者が都合により退任されましたので、瑞浪市子ども・子育て会議条例第4条の規定により、前任者の残任期間を務めていただくこととなりますのでよろしくお願いします。

次に、本日の出席委員ですが、2名の方より欠席のご連絡をいただいております。瑞浪市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により、会議は委員の半数以上が出席しなければ、開くことができないとされております。本日は委員20名中18名の出席をいただいておりますので、本会議が成立していますことをご報告させていただきます。

それでは、瑞浪市子ども・子育て会議条例第6条により「会長が議長を務める」となっておりますので、議事の進行は永井会長にお願いします。よろしくお願いします。

委員長

よろしくお願いします。では議題に入りたいと思います。

議題1 小規模保育事業所の利用定員について事務局から提案をお願いします。

事務局

小規模保育事業所の利用定員について（資料1）説明

委員長

小規模保育事業所の利用定員について、ご意見等がございましたらお願いします。

委員

【意見なし】

委員長

それでは、議題1 小規模保育事業所の利用定員については、提案の内容で「意見なし」ということでよろしいでしょうか。

委員

【承認】

委員長

続いて、第2期瑞浪市子ども子育て支援事業計画について、アンケート調査結果の報告を事務局からお願いします。

事務局

瑞浪市子育て支援に関するアンケート調査結果報告書（事前配布資料）説明

委員長

何かご意見等ありましたらお願いします。

委員

様々な意見が出されていますので、どうしたら願いを叶えられるかを考えていただきたいです。また、意見の中に「悩みを聞いてほしい」という意見が多かった。その割には、相談する相手はいますかという設問には「いる」という回答が多い。本質は、悩みを聞いてほしいのではなくて、誰かと話したいということではないかと感じました。

委員

アンケート用紙が、字も多く模様も混在していたため非常に見つらなかった。次回は考慮してほしい。私も調査に回答したが、1時間以上かかっている。それほどのアンケートであるので、調査したことで終わることなく今後役に立ててほしいです。

意見の中に子育てを楽しく感じるという人が多かったのは、瑞浪の力なのかなと感じました。

10月からの幼児教育・保育無償化は、私自身すごくありがたいことだと思っている。今後、教育部から保育部に移る方が増えるのではないか。現段階でも保育士さんが足りない中、先生方の負担がますます増えることにより保育サービスの低下があってはいけない。そうした対応も考えなくてはいけないと思う。

委員

アンケート結果にあるように病後児保育、不定期の一時預かりを利用したいと思っはいるが、利用できていない方は、我慢をしたり無理をしたりしてストレスをためていることにもなっていると思うので、そうした方の対策を考えていただきたい。

委員

子育ては楽しいと感じていますかとの問いに対し、未就学児は94%以上が楽しい。就学児が90%を

切っており、この結果は、学校関係者として大きい数字だなと感じている。大きくなってくると子どもとの距離ができてくるとか、どこにどう相談していいかわからないとか、個の発達などの問題で苦しみを感じている人が増えてきているのではと感じます。また、子ども達自身が苦しんでいる状況もある。そうした時に専門家のアドバイスをいただきたいが、なかなかスムーズにつながらない。未就学児では、「ぼけっと」など相談する場所はあるが、就学児となると相談する場がなくなっていると感じている。また、発達・児童精神科など専門家の意見を聞きづらい状況にある。

そうした医療的なサポートを充実していくことが、苦しんでいる保護者・子どもたちを救っていくことになると思うので、サポート面を充実していただきたいです。

委員長

0歳から大人までのつながりをうまく作ってサポートしていきたいということだと思いますが、大きくなるに従って問題も複雑化してきているが、そういった点も考慮していただけるとありがたいと思います。

委員

私は、市外から嫁いで子供を産んで子育てをしてきました。相談する人も少なく病院がどこにあるのかもわからず不安だった。病院の場所や、手続きなどがまとまった一覧表など目につきやすいものがあると心強いと思います。出生届の際に、関係書類を多くいただいたが、目を通す時間がなかったり、どこかへ行ってしまったりするので、こまめに情報がいただける手段があったらいいと思います。

また、駅前やショッピングセンターなど目につく場所に子育て掲示板があるといいと思います。広報やホームページだけでなく様々な場所で、子育て情報が手に入る状態であれば、市外からきた保護者にもありがたいと思います。

委員長

情報というのは、とても大切だなと思いました。広報が手に入らない方もいますので、広報以外の情報発信も必要かなと思います。

委員

近年、就職をしても適応障害になって数年で職場を辞めてしまうことが多いように感じます。我々の世代が育ててきた子供たちにそうしたケースが多いことは、反省しなければいけないところもあるが、子供のうちに相談する場所がなかったのが原因なのかなと思う。小さなうちから皆さんで見守ってやれるような環境を整えてあげることがこれからの子育てに大事なことだと痛感しています。

委員

学童担当者ですが、「学童の料金が高い」といった意見があった。保護者の皆さんの意見も分かるが、現場としては様々な努力をして現在に至っている。この結果だけを見て学童の料金を下げようとはしないでほしい。また、意見欄に学童で宿題をしっかりと見てほしいとの意見があるが、基本、学童はそういった場所ではありません。保護者の意見のみならず、現場のアンケートもとってほしいと思います。

子育て支援というのは、本当は親が子どもを育てられる支援だと思っています。就労支援の方にシフトしている現状ですが、瑞浪の学童は、保護者のニーズになるべく沿いながら子育て補助ができればと思っています。他市と比べたらまだまだ未熟な点もありますが、アドバイスをいただきながら進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員長

現場の貴重な意見をいただきました。親さんはもちろん先生、学童の皆さんも頑張っていますので、それぞれの立場も踏まえながらより良いものができるといいなと思います。

委員

私ども中京幼稚園では、「お日様サロン」「スマイルルーム」といった園外の親御さんにも参加できる機会を設け、悩みや思いを吐き出す場をつくっています。春からは、発達支援について、大学にいる発達心理の先生に障がいを持った子どもに対してどういう関わり、支援をしたらいいかの研修を職員が交代交代で受けています。幼児教育の専門大学の優秀な先生のもと、こうした活動をしているの

に、私どもの園だけでしか活用できないというのはもったいない気がしています。また、これらの活動は、徐々に口コミで広まってきているが、園だけの広報ではなかなか広まっていかない。最近ようやく市の広報に入園説明会の案内を掲載していただけるようになったが、こうした活動についても市の広報に掲載をしてほしいと思います。

現在、私どもの園は、市内の幼稚園との繋がりもなく情報交換さえもしていない状況で、公立と私立の垣根がすごく高い気がしています。垣根を取っ払い、みんなで大切な子供たちを育てていこうというスタンスでやっていけたらいいと思っています。

委員 私に以前住んでいたところでは、広報とは別に子育て広報みたいなものがあった。カレンダーのような形で支援や活動の紹介、検診日、予防接種日などの情報が載っていれば見やすいと思います。

委員 チラシ等も必要だと思うが、ホームページやアプリ等でも情報掲載をしてほしい。公園情報など、外出先でもスマートフォンで検索できるようにしてほしいと思います。

事務局 市では、今年度から母子手帳アプリを導入しています。登録していただくと対象の年齢にあった情報が送られてくるといったものです。

まだまだ情報量が少ないので、今後は市役所の他の部署からも情報を流すように広げていきたいと思います。また、アプリについて広報やホームページ、幼稚園の入園式で保護者にはPRチラシを配布してはいますが、多くの皆さんに知っていただくために広報していきます。

委員長 大変ありがたい話です。是非充実した情報を皆さんに届けてほしいと思います。

委員 可児市では、子育てに関する保健センター、子育て支援課が同じ建物内にあり、子育てに関する便りも1枚にまとまって見やすかった。瑞浪市でも集約できないものかと思う。

ときわの相談支援には、不登校の子、保護者が多く相談に来ている。先ほども意見にあったが、こうした民間の活動と市の活動に統一感がなく、連携もできていない。以前、トータルでサポートができる部署があってもいいのではと提案をしたが、今のところ考えていないとの回答だった。この会議には、子育てに関わるいろいろな立場の方が集まっているので、現場や保護者の声などを皆が共有し連携できるようにしていただきたいと思います。

委員長 大変な貴重な意見をいただきました。具体的な方向へ進めて行けたらいいなと思っています。

事務局 計画策定スケジュール（資料2）説明

委員長 スケジュールについて、何かご意見はありますか。

委員 **【意見なし】**

委員長 次回の会議は、9月頃の予定です。よろしく願います。

事務局 それでは、本日の会議は以上で閉会とします。皆様どうもありがとうございました。